

Docket No. 220515US2S

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Hiroshi SUKEGAWA

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: MUSIC DISTRIBUTION METHOD FOR DISTRIBUTING PRODUCTION SUCH AS MUSIC, SERVER
USED FOR SAID MUSIC DISTRIBUTION METHOD, AND MUSIC REPRODUCTION APPARATUS

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

COUNTRY

JAPAN

APPLICATION NUMBER

2001-067230

MONTH/DAY/YEAR

March 9, 2001

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Chm McClelland

Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913

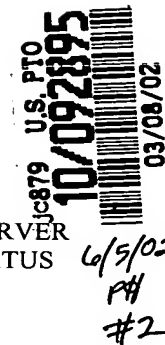
C. Irvin McClelland

Registration Number 21,124



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/98)



0151648

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月 9日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-067230

[ST.10/C]:

[JP2001-067230]

出 願 人

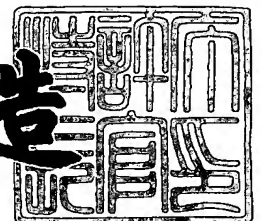
Applicant(s):

株式会社東芝

2002年 1月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3115208

【書類名】 特許願

【整理番号】 A000007290

【提出日】 平成13年 3月 9日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00
G09F 9/00

【発明の名称】 音楽配信方法

【請求項の数】 15

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地 株式会社東芝マ
イクロエレクトロニクスセンター内

【氏名】 助川 博

【特許出願人】

【識別番号】 000003078

【氏名又は名称】 株式会社 東芝

【代理人】

【識別番号】 100058479

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴江 武彦

【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100068814

【弁理士】

【氏名又は名称】 坪井 淳

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100091351

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

【識別番号】 100088683

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 誠

【選任した代理人】

【識別番号】 100070437

【弁理士】

【氏名又は名称】 河井 将次

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 音楽配信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記音楽再生手段に配信するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、

前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、

前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項 2】

インターネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記サーバが、要求された前記音楽情報と、前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記音楽再生手段に配信するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生すると共に、前記音楽情報の再生回

数を記録するステップと、

前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項 3】

インターネットを利用してサーバから携帯再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

送受信手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記送受信手段に配信するステップと、

前記送受信手段に配信された前記配信ファイルを前記携帯再生手段に送信するステップと、

前記携帯再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、

前記携帯再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、

前記音楽情報の入れ換えのために、前記サーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップにおいて、前記携帯再生手段が前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記送受信手段に送信し、さらに前記送受信手段が前記再生回数を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記携帯再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項 4】

インターネットを利用してサーバから携帯再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

送受信手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記送受信手段に配信するステップと、

前記送受信手段に配信された前記配信ファイルを前記携帯再生手段に送信するステップと、

前記携帯再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、

前記音楽情報の入れ換えのために、前記サーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップにおいて、前記携帯再生手段が前記配信ファイルを前記送受信手段に送信し、前記送受信手段が前記携帯再生手段内での前記配信ファイルの滞在期間から、前記音楽情報及び広告情報の再生回数の推定値を求めるステップと、

前記送受信手段が前記再生回数の推定値を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記携帯再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項 5】

インターネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記サーバが、要求された前記音楽情報を前記音楽再生手段に配信するステップと、

前記サーバが、サーバへの接続情報及び複数の広告情報を、前記音楽再生手段

に配信するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、選択した前記広告情報を再生するステップと、

前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、

前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項6】

インターネットを利用して音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、

前記音楽再生手段がインターネットを介して、その音楽の著作権者に対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、

前記著作権者が、要求された前記音楽情報を前記音楽再生手段に配信するステップと、

前記サーバが、サーバへの接続情報及び複数の広告情報を、前記音楽再生手段に配信するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択するステップと、

前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、選択した前記広告情報を再生するステップと、

前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、

前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、

前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップと、

を具備することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項 7】

前記配信ファイルは、ヘッダー情報部とこのヘッダー情報部の下に配置された本体情報部とを有し、前記ヘッダー情報部には前記サーバへの接続情報及び広告情報が記録され、前記本体情報部には音楽情報が記録された構造を持ち、前記音楽情報内に広告情報を特定できる特定情報が含まれており、前記ヘッダー情報部の広告情報と、前記本体情報部の音楽情報内に含まれる前記特定情報とが一致した場合に、前記音楽再生手段に対し音楽情報の再生が許可されることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 8】

前記配信ファイルは、ヘッダー情報部とこのヘッダー情報部の下に配置された本体情報部とを有し、前記本体情報部には音楽情報が記録された構造を持ち、前記音楽情報内にはサーバへの接続情報及び広告情報が含まれていることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 9】

前記音楽情報と前記広告情報との間には関連性があり、前記音楽情報の楽曲名を好むユーザ層と、前記広告情報により広告を行いたい対象の層とが一致するように、前記音楽情報と前記広告情報とが選択されていることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6、7、8 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 10】

前記音楽情報と前記広告情報との間には関連性がなく、所定の時期、時刻に特定の広告を優先して再生するように、前記広告情報が選択されていることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6、7、8 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法

【請求項 1 1】

前記広告情報は、前記音楽再生手段がその出力形態に応じて、バナー広告、文字出力、音声出力のうち、少なくともいずれか 1 つを選択できるように、それぞれに出力形態に対応した複数の広告情報からなることを特徴とする請求項 1、5、6 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 1 2】

前記広告情報は、前記携帯再生手段がその出力形態に応じて、バナー広告、文字出力、音声出力のうち、少なくともいずれか 1 つを選択できるように、それぞれに出力形態に対応した複数の広告情報からなることを特徴とする請求項 3、4 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 1 3】

前記サーバが配信する前記広告情報には暗号性を持たせず、前記著作権者が配信する前記音楽情報には暗号性を持たせ、前記サーバが配信する再生ソフトにおいてのみ前記音楽情報を再生でき、前記再生ソフトは広告情報が再生されていること、及びその結果がサーバに通知されていることを監視し、これらを音楽情報の再生を許可する条件とする機能を持つことを特徴とする請求項 6 に記載の音楽配信方法。

【請求項 1 4】

前記広告情報を再生するステップでは、前記広告情報の再生が音楽情報の再生中に行われることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【請求項 1 5】

前記広告情報を再生するステップでは、前記広告情報の再生が音楽情報の再生前あるいは再生後のいずれかに行われることを特徴とする請求項 1、3、4、5、6 のいずれか 1 つに記載の音楽配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、インターネット等の通信媒体、あるいはCD、DVD等の記録媒体を用いて、音楽などの著作物を使用する消費者に配信する音楽配信方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来では、インターネットなどを用いて音楽を鑑賞する消費者（以下、鑑賞者）に音楽を再生可能な音楽情報を配信する音楽配信方法が存在している。音楽情報とは、音楽を通信媒体により通信できるように、あるいは記録媒体により記録できるように、かつ再生装置により再生できるように、データ化したものである。

【0003】

この音楽配信方法は、音楽情報が記録されたコンパクトディスク（CD）を購入するという概念を電子的に置き換えたものであり、音楽情報は購入物として扱われる。このため、价格的に鑑賞者が期待するものとかい離れたものとなっており、ビジネス規模を拡大することができなかった。

【0004】

また、配信する音楽情報に、コピーを防止するためのコピープロテクションが必要であるため、音楽再生時の使い勝手を損なうものとなっていた。また、配信した音楽情報が不正にコピーされ、音楽の再生に利用されることで著作権者に多大な損害が発生していた。

【0005】

そこで、この発明は、前記課題を解決するためになされたものであり、鑑賞者の低価格化要求、及び著作権者の権利侵害防止要求を満たすために、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収すると共に、宣伝広告の広告料収入を得て鑑賞料を低減でき、さらに鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる音楽配信方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、この発明に係る第1の音楽配信方法は、インター

ネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記音楽再生手段に配信するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップとを具備することを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

前記構成を有する音楽配信方法では、音楽再生手段が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数を前記サーバに送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【 0 0 0 8 】

前記目的を達成するために、この発明に係る第2の音楽配信方法は、インターネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記サーバが、要求された前記音楽情報と、前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記音楽再生手段に配信するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生すると共に、前記音楽情報の再生回数を記録するステップと、前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求

するステップとを具備することを特徴とする音楽配信方法。

【0009】

前記構成を有する音楽配信方法では、音楽再生手段が音楽情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数を前記サーバに送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる。

【0010】

前記目的を達成するために、この発明に係る第3の音楽配信方法は、インターネットを利用してサーバから携帯再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、送受信手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記送受信手段に配信するステップと、前記送受信手段に配信された前記配信ファイルを前記携帯再生手段に送信するステップと、前記携帯再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、前記携帯再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、前記音楽情報の入れ換えのために、前記サーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップにおいて、前記携帯再生手段が前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記送受信手段に送信し、さらに前記送受信手段が前記再生回数を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記携帯再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップとを具備することを特徴とする。

【0011】

前記構成を有する音楽配信方法では、携帯再生手段が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数を前記サーバに送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減で

きる。

【 0 0 1 2 】

前記目的を達成するために、この発明に係る第4の音楽配信方法は、インターネットを利用してサーバから携帯再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、送受信手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記サーバが、要求された前記音楽情報と、広告情報と前記サーバへの接続情報とを一体化した配信ファイルを前記送受信手段に配信するステップと、前記送受信手段に配信された前記配信ファイルを前記携帯再生手段に送信するステップと、前記携帯再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、前記広告情報を再生するステップと、前記音楽情報の入れ換えのために、前記サーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップにおいて、前記携帯再生手段が前記配信ファイルを前記送受信手段に送信し、前記送受信手段が前記携帯再生手段内での前記配信ファイルの滞在期間から、前記音楽情報及び広告情報の再生回数の推定値を求めるステップと、前記送受信手段が前記再生回数の推定値を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記携帯再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップとを具備することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

前記構成を有する音楽配信方法では、送受信手段が携帯再生手段内での配信ファイルの滞在期間から、音楽情報及び広告情報の再生回数の推定値を求め、前記再生回数の推定値をサーバに送信することにより、音楽の鑑賞実績に準ずる前記再生回数の推定値に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、前記再生回数の推定値に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数の推定値に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【 0 0 1 4 】

前記目的を達成するために、この発明に係る第5の音楽配信方法は、インターネットを利用してサーバから音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法に

において、前記音楽再生手段がインターネットを介してサーバに対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記サーバが、要求された前記音楽情報を前記音楽再生手段に配信するステップと、前記サーバが、サーバへの接続情報及び複数の広告情報を、前記音楽再生手段に配信するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、選択した前記広告情報を再生するステップと、前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップとを具備することを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

前記目的を達成するために、この発明に係る第 6 の音楽配信方法は、インターネットを利用して音楽再生手段に音楽情報を配信する音楽配信方法において、前記音楽再生手段がインターネットを介して、その音楽の著作権者に対し所望する音楽情報の配信を要求するステップと、前記著作権者が、要求された前記音楽情報を前記音楽再生手段に配信するステップと、前記サーバが、サーバへの接続情報及び複数の広告情報を、前記音楽再生手段に配信するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択するステップと、前記音楽再生手段が、前記音楽情報の再生に伴って、選択した前記広告情報を再生するステップと、前記音楽再生手段が、再生された音楽情報の再生回数と、広告情報の再生回数を記録するステップと、前記音楽再生手段が、所定の頻度で前記音楽情報及び広告情報の再生回数を前記サーバに送信するステップと、前記サーバが、前記広告情報の再生回数に応じて、広告主に対して広告料の支払いを要求するステップと、前記サーバが、前記音楽情報の再生回数に応じて、前記音楽再生手段に対して鑑賞料の支払いを要求するステップとを具備することを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

前記構成を有する第 5、第 6 の音楽配信方法では、サーバが、サーバへの接続情報及び複数の広告情報を音楽再生手段に配信し、音楽再生手段が音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択できることにより、広告の質を高める競争原理が働き、広告の質が高くなる。これにより、鑑賞者が広告の受け入れに対して抵抗がなくなり、市場拡大の方向付けに有効である。また、音楽再生手段が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数を前記サーバに送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【 0 0 1 7 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照してこの発明の実施の形態について説明する。

【 0 0 1 8 】

〔第 1 の実施の形態〕

まず、この発明の第 1 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成について説明する。図 1 は、前記第 1 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

【 0 0 1 9 】

図 1 に示すように、配信徴収運営会社（以下、運営会社）のサーバ 1 1 は、電話回線を経由してインターネット 1 2 に接続されている。インターネット 1 2 には、電話回線を経由して複数の音楽再生装置 1 3 が接続されている。

【 0 0 2 0 】

音楽再生装置 1 3 は、音楽情報を再生可能な再生機や、画像を表示可能な画像表示部を有する装置であり、例えば、パーソナルコンピュータ（以下、P C）を指す。

【 0 0 2 1 】

前記サーバ 1 1 は、音楽再生装置 1 3 に音楽の鑑賞料の支払いを要求するデー

タを送信し、鑑賞者は運営会社へ鑑賞料の支払いを行う。また、前記サーバ 1 1 は、広告主 1 4 に広告料を支払いを要求するデータを送信し、広告主 1 4 は運営会社へ広告料の支払いを行う。そして、運営会社は、音楽情報の著作権者 1 5 へ、著作権料の支払いを行う。

【 0 0 2 2 】

また、図 2 は、前記音楽配信システムの他のハード構成を示す図である。図 1 に示すハード構成では、インターネット 1 2 を用いて情報の授受を行う例を示したが、図 2 に示すように、衛星 1 6 による通信を用いて情報の配信を行ってもよい。また、図示しないが、CD や DVD 等の記録媒体を用いて情報（音楽データ）の配布を行ってもよい。

【 0 0 2 3 】

次に、運営会社に備えられたサーバ 1 1 内の構成について説明する。

【 0 0 2 4 】

図 3 は、前記サーバ 1 1 の構成を示すブロック図である。

【 0 0 2 5 】

制御部 2 1 は、CPU などの演算処理装置からなり、サーバ各部の制御や、様々な演算処理、データの転送、データの一時的な記憶などを行う。出力制御部 2 2 は、インターネット 1 2 を経由して音楽再生装置 1 3 に出力するデータを記憶制御する。入力制御部 2 3 は、インターネット 1 2 を経由して音楽再生装置 1 3 から入力されるデータを記憶制御する。サーバ 1 1 内の記憶手段には、メインプログラム 2 4、音楽ファイル 2 5、広告ファイル 2 6、及び鑑賞者ファイル 2 7 がそれぞれ記憶されている。

【 0 0 2 6 】

前記音楽ファイル 2 5 には、複数の音楽情報が格納されている。音楽情報は、音楽をインターネットなどの通信媒体で伝送可能なように、データ化した情報である。前記広告ファイル 2 6 には、複数の広告情報が格納されている。広告情報は、広告主が提供した広告をインターネットなどの通信媒体で伝送可能なように、データ化した情報である。

【 0 0 2 7 】

前記メインプログラム24は、制御部21にて処理されるプログラムであり、例えば、音楽再生装置13に音楽配信を行うための案内画面を表示させ、案内画面に従った一連の処理を実行するプログラム、音楽ファイル25内の音楽情報と広告ファイル26内の広告情報とサーバ11への接続情報とを一体化した音楽配信ファイルを生成するプログラム、この音楽配信ファイルを音楽再生装置13に配信するプログラム、さらに鑑賞者ファイル27内の鑑賞者データを作成管理するプログラムなどから構成されている。前記サーバ11への接続情報は、音楽再生装置13からサーバ11へ情報を送信するための設定や条件に関する情報であり、メインプログラム24に格納されている。

【0028】

前記鑑賞者ファイル27には、複数の鑑賞者データが格納されている。鑑賞者データは、鑑賞者個々の情報を記録したものであり、鑑賞者識別番号、音楽情報、広告情報、鑑賞実績（再生回数）などの項目から構成される。この鑑賞者データは、鑑賞者が用いる音楽再生装置13ごとに作成される。

【0029】

次に、図1に示す音楽配信システムの動作について説明する。

【0030】

図4は、前記音楽配信システムにおける情報の送受信を示すブロック図である。

【0031】

音楽再生装置（鑑賞者）13は、運営会社のサーバ11に対して所望する音楽情報の配信を要求する。あるいは、サーバ11は、音楽再生装置13に対して、配信可能な音楽情報のリストを送信する。音楽再生装置（鑑賞者）13は、受信した音楽情報のリストの中から、音楽情報を選択しその配信を要求する。

【0032】

サーバ11は、要求された音楽情報に、広告情報とサーバ11への接続情報を一体化した音楽配信ファイルを作成し、この音楽配信ファイルを音楽再生装置13に配信する。

【0033】

次に、音楽再生装置（鑑賞者）13は、音楽情報を再生して音楽を鑑賞する。このとき、音楽再生装置13は、音楽情報の再生に伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。広告宣伝行為の例としては、音楽再生装置13の画面に広告を表示する、また再生する音楽の曲名アナウンスに伴って、広告を音声で出力するなどがある。広告情報の再生を行う時期は、音楽情報の再生前でも良いし、再生後でも良い。また、音楽情報の再生中に、広告情報の再生、例えば画面に広告を表示するなどをしても良い。

【0034】

音楽再生装置13は、鑑賞者の希望に応じて音楽情報及び広告情報の再生を繰り返し行う。音楽再生装置13は、再生された音楽情報の再生回数と、再生された広告情報の再生回数を記録管理する。そして、音楽再生装置13から、あるいは携帯型の音楽再生端末（以下、携帯端末）が時々接続されるPCなどから、所定の頻度で音楽情報及び広告情報の利用状況が運営会社のサーバ11に送信される。すなわち、音楽再生装置13からサーバ11へ、鑑賞実績（再生回数）が報告される。

【0035】

次に、運営会社のサーバ11は、広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、広告主14に対して広告料の支払いを要求するデータを送信する。広告主14は、前記利用状況（鑑賞実績）に応じた広告料を運営会社へ支払う。

【0036】

さらに、運営会社のサーバ11は、音楽情報及び広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、音楽再生装置（鑑賞者）13に対して鑑賞料の支払いを要求するデータを送信する。鑑賞者は、前記利用状況（鑑賞実績）に応じた鑑賞料を運営会社へ支払う。

【0037】

運営会社の収入源は、前述したように、音楽再生に伴って行われる広告宣伝による広告料と、鑑賞実績に応じて鑑賞者から支払われる鑑賞料の2つである。そして、運営会社は、音楽情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、前記音楽情報の著作権者15へ、著作権料の支払いを行う。

【0038】

また、運営会社のサーバ11には、予め広告主14から広告情報が提供され、広告ファイル26に格納されている。著作権者15からは音楽情報が提供され、音楽ファイル25に格納されている。

【0039】

なお、ここではインターネットを用いて音楽配信ファイルを配信する方法を説明したが、これに限るわけではなく、図2に示すように、衛星を用いて音楽配信ファイルを配信してもよいし、あるいはCD-ROM、DVD-ROMなどの記録媒体を用いて音楽配信ファイルを配信してもよい。

【0040】

次に、運営会社が配信する音楽配信ファイルのファイル構造を説明する。

【0041】

図5は、前記音楽配信ファイルのファイル構造の第1例を示す図である。

【0042】

運営会社のサーバ11が配信する音楽配信ファイル30は、ファイルのヘッダ情報部31に、サーバ11への接続情報（例えば、インターネットアドレスを含む情報）及び広告情報（テキストとして読み出しが可能な情報）が記録され、ヘッダ情報部31下の本体情報部32に音楽情報が記録された構造を持つ。

【0043】

さらに、本体情報部32には、音楽情報以外に、ヘッダ情報部31内の情報が特定できるような特定データ、すなわちサーバ11への接続情報及び広告情報を特定できる特定データが含まれていてもよい。この場合には、ヘッダ情報部31のサーバ11への接続情報及び広告情報と、本体情報部32の特定データとが一致した場合に、音楽情報の再生を許可するアプリケーションの環境下において音楽情報の再生が実施される。なお、この特定データは、スクランブルをかけておくと良い。

【0044】

音楽配信ファイルをこのようなファイル構造にしておくことにより、サーバ11への接続情報及び広告情報はヘッダ情報部31から特にセキュリティのかかっ

ていないアプリケーションで読み出しが可能になる。一方、悪意を持って、ヘッダー情報部 3 1 の情報が改ざんされた場合には、セキュリティ機能を持っている、音楽情報が記録された本体情報部 3 2 の側で再生を拒否することができる。このように、ヘッダー情報部 3 1 の情報が改ざんされていないかのチェックが可能となるように、本体情報部 3 2 にも改ざんが困難な形で前記特定データを持たせておくと良い。

【 0 0 4 5 】

次に、前記音楽配信ファイルのファイル構造の第 2 例を説明する。

【 0 0 4 6 】

図 6 は、前記音楽配信ファイルのファイル構造の第 2 例を示す図である。

【 0 0 4 7 】

サーバ 1 1 が配信する音楽配信ファイル 3 3 は、ファイルのヘッダー情報部 3 1 に、サーバ 1 1 への接続情報及び広告情報が記録されておらず、ヘッダー情報部 3 1 下の本体情報部 3 2 に音楽情報が記録され、この音楽情報内にのみサーバ 1 1 への接続情報及び広告情報が含まれた構造を持つ。

【 0 0 4 8 】

音楽再生装置 1 3 は、音楽情報の再生に伴って、音楽情報に記録された広告情報に従い、広告宣伝行為を行う。さらに、音楽再生装置 1 3 は、音楽情報内に記録されたサーバ 1 1 への接続情報に従って、運営会社のサーバ 1 1 に接続し、音楽情報及び広告情報の鑑賞実績（再生回数）を通知する。

【 0 0 4 9 】

次に、前記音楽配信ファイルのファイル構造の第 3 例を説明する。

【 0 0 5 0 】

図 7 は、前記音楽配信ファイルのファイル構造の第 3 例を示す図である。

【 0 0 5 1 】

サーバ 1 1 が配信する音楽配信ファイル 3 4 には、広告情報が記録されていない。広告情報は、予め音楽再生装置 1 3 に配信し記憶させておく。音楽配信ファイル 3 4 のヘッダー情報部 3 1 下の本体情報部 3 2 には音楽情報が記録されている。

【0052】

どの音楽情報を再生したときに、どの広告情報を再生するかは、音楽情報と広告情報とを対応づけた対応情報に従って決定される。この対応情報は、音楽配信ファイルとは別に配信する。この際、対応づける音楽情報と広告情報との間には、何らかの関連性があってもよいし、なくてもよい。

【0053】

音楽情報と広告情報との間に関連性を持たせる例としては、以下のようなものがある。特定の音楽タイトルを好むユーザ層と、広告を行いたい対象のユーザ層とが一致するようにする場合、また、どのようなジャンルの音楽かにより、ジャンルごとに広告情報を対応させる場合などである。

【0054】

また、音楽情報と広告情報との間に関連性を持たせない例としては、以下のようなものがある。再生する音楽情報に関係なく、ある時期、時刻に特定の広告を優先して流したい場合、また、一日のうちのどの時間帯で聞いているかにより、再生する広告情報を決定する場合などである。

【0055】

再生される音楽情報と広告情報とが必ずしも関連性を持たない場合であっても、どの音楽情報の鑑賞時にどの広告情報が広告として再生されたかはその都度、音楽再生装置13にて記録され、適当な頻度で運営会社のサーバ11に鑑賞実績として報告される。

【0056】

以上説明したようにこの第1の実施の形態によれば、音楽再生装置13が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数をサーバ11に送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者15に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【0057】

[第2の実施の形態]

次に、この発明の第 2 の実施の形態の音楽配信システムについて説明する。

【0058】

この第 2 の実施の形態では、音楽再生装置として、携帯型の音楽再生端末（以下、携帯端末）を用いた例を説明する。

【0059】

図 8 は、第 2 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

【0060】

この第 2 の実施の形態のハード構成は、図 1 に示した構成において、音楽再生装置（例えば、P C）1 3 に換えて携帯端末 1 7 を用いたものであり、その他の構成は前記第 1 の実施の形態と同様である。

【0061】

この第 2 の実施の形態では、音楽情報と広告情報とを 1 対 1 で関連づけ、1 つの音楽情報の再生に伴って、1 つの広告情報が再生されて広告宣伝行為が行われる。なお、音楽情報と広告情報とを、1 つの音楽情報と複数の広告情報とで関連づけ、1 つの音楽情報の再生に伴って、複数の広告情報が再生されるようにしてもよい。

【0062】

携帯端末（鑑賞者）1 7 は、運営会社のサーバ 1 1 に対して所望する音楽情報の配信を要求する。あるいは、サーバ 1 1 は、携帯端末 1 7 に対して、配信可能な音楽情報のリストを送信する。携帯端末（鑑賞者）1 7 は、受信した音楽情報のリストの中から、所望する音楽情報の配信を要求する。

【0063】

サーバ 1 1 は、要求された音楽情報に、広告情報とサーバ 1 1 への接続情報を一体化した音楽配信ファイル作成し、この音楽配信ファイルを携帯端末 1 7 に配信する。

【0064】

次に、携帯端末（鑑賞者）1 7 は、音楽情報を再生して音楽を鑑賞する。このとき、携帯端末 1 7 は、音楽情報の再生に伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。広告宣伝行為の例としては、携帯端末 1 7 の画面に広告を表示する

、また再生する音楽の曲名アナウンスに伴って広告を音声で出力するなどがある。広告情報の再生を行う時期は、音楽情報の再生前でも良いし、再生後でも良い。また、音楽情報の再生中に、広告情報の再生、例えば画面に広告を表示するなどをしても良い。

【0065】

携帯端末17は、鑑賞者の希望に応じて音楽情報及び広告情報の再生を繰り返す。携帯端末17は、再生された音楽情報の再生回数と、再生された広告情報の再生回数を記録管理する。そして、携帯端末17に配信された音楽情報の入れ換えを行う際に、携帯端末17は音楽情報及び広告情報の利用状況を運営会社のサーバ11に送信する。すなわち、携帯端末17からサーバ11へ、鑑賞実績（再生回数）が報告される。

【0066】

次に、運営会社のサーバ11は、広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、広告主14に対して広告料の支払いを要求するデータを送信する。広告主14は、前記利用状況に応じた広告料を運営会社へ支払う。

【0067】

さらに、運営会社のサーバ11は、音楽情報及び広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、携帯端末（鑑賞者）17に対して鑑賞料の支払いを要求するデータを送信する。鑑賞者は、前記利用状況に応じた鑑賞料を運営会社へ支払う。

【0068】

運営会社の収入源は、前述したように、音楽再生に伴って行われる広告宣伝による広告料と、鑑賞実績に応じて鑑賞者から支払われる鑑賞料の2つである。そして、運営会社は、音楽情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、前記音楽情報の著作権者15へ、著作権料の支払いを行う。

【0069】

以上説明したようにこの第2の実施の形態によれば、携帯型の音楽再生端末17が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数をサーバ11に送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者15に対し著作

権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【 0 0 7 0 】

〔第 3 の実施の形態〕

次に、この発明の第 3 の実施の形態の音楽配信システムについて説明する。

【 0 0 7 1 】

この第 3 の実施の形態では、前記第 2 の実施の形態と同様に、音楽再生装置として、携帯型の音楽再生端末（以下、携帯端末）を用いた例を説明する。

【 0 0 7 2 】

図 9 は、第 3 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

【 0 0 7 3 】

この第 3 の実施の形態のハード構成は、図 1 に示した構成において、音楽再生装置に換えて、P C などの送受信装置 1 8 と携帯端末 1 9 を用いたものであり、その他の構成は前記第 1 の実施の形態と同様である。

【 0 0 7 4 】

送受信装置 1 8 は、運営会社のサーバ 1 1 に対して所望する音楽情報の配信を要求する。あるいは、サーバ 1 1 は、送受信装置 1 8 に対して、配信可能な音楽情報のリストを送信する。送受信装置 1 8 は、受信した音楽情報のリストの中から、所望する音楽情報の配信を要求する。

【 0 0 7 5 】

サーバ 1 1 は、要求された音楽情報と広告情報を一体化した音楽配信ファイル作成し、この音楽配信ファイルとサーバ 1 1 への接続情報を送受信装置 1 8 に配信する。送受信装置 1 8 に接続された携帯端末 1 9 は、送受信装置 1 8 に配信された音楽情報及び広告情報を携帯端末 1 9 内に取り込み記憶する。

【 0 0 7 6 】

次に、携帯端末（鑑賞者） 1 9 は、音楽情報を再生して音楽を鑑賞する。このとき、携帯端末 1 9 は、音楽情報の再生に伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。広告情報の再生を行う時期は、音楽情報の再生前でも良いし、再生後でも良い。また、音楽情報の再生中に、広告情報の再生、例えば画面に広告を

表示するなどをして良い。

【0077】

携帯端末19は、鑑賞者の希望に応じて音楽情報及び広告情報の再生を繰り返す。そして、携帯端末19に記録された音楽情報の入れ換えを行うために、携帯端末19が送受信装置18に接続された際に、送受信装置18は携帯端末19に記録されている音楽情報が何であることを確認し、携帯端末19上での音楽情報の滞在時間から、音楽情報及び広告情報の再生回数の推定値を求める。携帯端末19は、前記推定値を運営会社のサーバ11に送信する。サーバ11は、受信した推定値を音楽情報及び広告情報の鑑賞実績と見なす。

【0078】

次に、運営会社のサーバ11は、広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、広告主14に対して広告料の支払いを要求するデータを送信する。広告主14は、前記利用状況に応じた広告料を運営会社へ支払う。

【0079】

さらに、運営会社のサーバ11は、音楽情報及び広告情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、携帯端末（鑑賞者）19に対して鑑賞料の支払いを要求するデータを送信する。鑑賞者は、前記利用状況に応じた鑑賞料を運営会社へ支払う。

【0080】

運営会社の収入源は、前述したように、音楽再生に伴って行われる広告宣伝による広告料と、鑑賞実績に応じて鑑賞者から支払われる鑑賞料の2つである。そして、運営会社は、音楽情報の利用状況（鑑賞実績）に応じて、前記音楽情報の著作権者15へ、著作権料の支払いを行う。

【0081】

この実施の形態では、携帯端末19は、音楽情報及び広告情報の再生のみを行い、音楽情報及び広告情報の再生回数は記録しない。これにより、携帯端末19では、再生回数を記録するために必要な負荷を低減できる。

【0082】

〔第4の実施の形態〕

次に、この発明の第4の実施の形態の音楽配信システムについて説明する。

【 0 0 8 3 】

この第 4 の実施の形態では、音楽情報と、運営会社のサーバへの接続情報、及び広告情報を一体化した音楽配信ファイルを用い、音楽再生装置の出力形態に応じて広告の出力内容を変化させる例を説明する。

【 0 0 8 4 】

例えば、音楽情報及び広告情報を PC にて再生するときには、広告は画像あるいはインターネットでリンクできるバナー広告で表示する。携帯端末で再生するときには、文字で表示したり、あるいは音声として音楽の冒頭に挿入する。このように、音楽再生装置の出力形態に応じて、広告の出力内容を変化させるなどのバリエーションが取れるようにする。

【 0 0 8 5 】

そこで、まず、音楽再生装置を広告表現能力によりカテゴリー分けする。カテゴリー分けした複数の音楽再生装置に対応した複数の広告情報を作成する。そして、配布される音楽情報、接続情報、及び広告情報を一体化した音楽配信ファイル本体に、前記複数の広告情報を含ませておく。これにより、音楽再生装置の出力形態に応じて、広告の出力内容を変更できるようにする。なお、逆に言えば、このシステムに対応する音楽再生装置には、予め決められたカテゴリーのいずれかに相当する広告表現能力が備わっていなければならない。

【 0 0 8 6 】

〔第 5 の実施の形態〕

次に、この発明の第 5 の実施の形態の音楽配信システムについて説明する。この第 5 の実施の形態は、前記第 1 の実施の形態の変形例であり、図 1 を用いて説明する。

【 0 0 8 7 】

運営会社のサーバ 1 1 は、サーバ 1 1 への接続情報、及び複数の広告情報を、インターネット 1 2 を経由して音楽の鑑賞を行う鑑賞者の音楽再生装置 1 3 に予め配信し、音楽再生装置 1 3 にこれらを記憶させておく。また、サーバ 1 1 は、音楽情報を音楽再生装置 1 3 に配信する。この場合、音楽情報と広告情報とは、一体化したファイルになっていない。

【0088】

次に、音楽再生装置（鑑賞者）13は、音楽情報を再生して音楽を鑑賞する。このとき、音楽再生装置13は、音楽情報の再生に伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。この広告情報の再生時には、鑑賞者は複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択する。

【0089】

広告情報を選択できるようにすることにより、運営会社はより質の高い広告を提供する必要が生じる。このため、広告の質を高める競争原理が働き、広告の質が高くなることで、鑑賞者が広告宣伝の受け入れに対して抵抗がなくなり、市場拡大の方向付けに有効である。広告情報の再生を行う時期は、音楽情報の再生前でも良いし、再生後でも良い。また、音楽情報の再生中に、広告情報の再生、例えば画面に広告を表示するなどをして良い。

【0090】

この実施の形態の一例としては、以下のような方法がある。

【0091】

著作権者15は、自らが持つ著作物である音楽情報を、鑑賞者の音楽再生装置13に配信する。運営会社のサーバ11は、複数の広告情報と広告利用状況通知機能に必要な情報を含む広告ファイルを、音楽再生装置13に配信する。音楽再生装置13では、音楽情報単独での再生は不可能になっており、運営会社が配信する前記広告ファイルと組み合わせられて始めて音楽情報の再生が可能になる。

【0092】

また、このとき運営会社が提供する広告ファイルは、特定の音楽情報の再生を可能にするだけでなく、すなわち特定の音楽情報の暗号解除などを行うのではなく、広く一般の音楽情報の再生を可能にする。

【0093】

なお、著作権者が配信する音楽情報は、圧縮方式、圧縮率などのバリエーションはあるものの、運営会社の違いによるファイル形式のバリエーションはないため、同一の音楽として配信される音楽情報のファイル形式のバリエーションは増えないという利点がある。

【0094】

また、この実施の形態の他の例としては、以下のような方法がある。

【0095】

運営会社のサーバ11は、音楽情報の配信を希望する鑑賞者の音楽再生装置13に専用の再生ソフトを予め配信する。この再生ソフトには、広告利用状況通知機能に必要な情報が含まれている。

【0096】

運営会社のサーバ11は、広告情報を音楽再生装置13に配信する。この広告情報は、音楽情報の再生を可能にする機能（音楽情報の暗号解除機能）を持っていない。

【0097】

著作権者15は、自らが持つ著作物である音楽情報を鑑賞者の音楽再生装置13に配信する。著作権者15により配信される音楽情報自体は、暗号性を持ち、従来の音楽再生ソフト、例えば圧縮された音楽情報を単純にデコードするものでは再生できない。前記音楽情報は、運営会社が提供する専用の再生ソフトにおいてのみ、再生が可能である。

【0098】

前記専用の再生ソフトは、広告情報が再生されて広告宣伝が実施されていることを監視し、その結果が運営会社のサーバ11に通知されていることを確認し、これらを音楽再生の許可条件とする機能を有する。したがって、運営会社のサーバ11が提供する広告情報には、所定の広告行為を実行できるための情報が含まれていれば良く、広告情報自体に秘匿性は必要ない。

【0099】

なお、前述したように、広告宣伝が実施された結果を運営会社に通知する機能は再生ソフト側で有する。したがって、どこの運営会社に通知されるかは再生ソフトにより知り得るので、どの通知先が非公認のものであるかのようなインチキ広告は音楽再生ソフトの側で排除することができる。

【0100】

また、この際に、音楽再生ソフトの動作として、適当な頻度で、別途管理先、

例えば音楽再生ソフトの配布側に、どこの運営会社に通知されているかを報告させ、不正を防ぐようにしてもよい。

【0101】

以上説明したようにこの第5の実施の形態によれば、サーバ11が、サーバ11への接続情報及び複数の広告情報を音楽再生装置13段に配信し、音楽再生装置13が音楽情報を再生する際に、前記複数の広告情報のうち、いずれの広告情報を再生するかを選択できることにより、広告の質を高める競争原理が働き、広告の質が高くなる。これにより、鑑賞者が広告の受け入れに対して抵抗がなくなり、市場拡大の方向付けに有効である。また、音楽再生装置13が音楽情報及び広告情報の再生回数を記録し、所定の頻度で前記再生回数をサーバ11に送信することにより、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収できると共に、鑑賞実績に応じて著作権者15に対し著作権料を支払うことができる。さらに、広告情報の再生回数に応じて広告料収入を得ることにより、鑑賞料を低減できる。

【0102】

〔第6の実施の形態〕

次に、この発明の第6の実施の形態の音楽配信システムについて説明する。この第6の実施の形態は、前記第3の実施の形態の変形例であり、図9を用いて説明する。

【0103】

運営会社のサーバ11は、サーバ11への接続情報、及び複数の広告情報を、インターネット12を経由して送受信装置18に予め配信し、これらを記憶させておく。

【0104】

また、送受信装置18は、運営会社のサーバ11に対して所望する音楽情報の配信を要求する。あるいは、サーバ11は、送受信装置18に対して、配信可能な音楽情報のリストを送信する。送受信装置18は、受信した音楽情報のリストの中から、所望する音楽情報の配信を要求する。サーバ11は、要求された音楽情報を送受信装置18に配信する。この場合、音楽情報と広告情報とは、一体化

したファイルになっていない。

【0105】

送受信装置18に接続された携帯端末19は、送受信装置18に配信された音楽情報を携帯端末19内に取り込み記憶する。このとき、送受信装置18は、携帯端末19へ音楽情報を送信するのに伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。

【0106】

次に、携帯端末19は、鑑賞者の希望に応じて音楽情報の再生を繰り返す行う。携帯端末19は、再生された音楽情報の再生回数を記録管理する。そして、携帯端末19に配信された音楽情報の入れ換えを行う際に、携帯端末19は音楽情報の再生回数を送受信装置18に送信する。このとき、送受信装置18は、携帯端末19から再生回数を受信するのに伴って、広告情報を再生して広告宣伝行為を行う。

【0107】

さらに、送受信装置18は、音楽情報の再生回数及び広告情報の再生回数を運営会社のサーバ11に送信する。すなわち、携帯端末19からサーバ11へ、音楽情報の鑑賞実績（再生回数）が報告されると共に、送受信装置18からサーバ11へ、広告情報の再生回数が報告される。以降の動作は、前記第3の実施の形態と同様である。

【0108】

なお、送受信装置18による広告情報の再生は、携帯端末19へ音楽情報を送信するときと、携帯端末19から音楽情報の再生回数を受信するときの2つ時点で行われたが、いずれか1つの時点で行われるようにしても良い。

【0109】

また、これら2つの時点以外の別の機会に広告情報を再生するようにしても良い。この場合には、広告を見ていること、または聞いていることを確認するために、送受信装置18への操作（クリックなど）を広告が再生されている間に行うようにすると良い。

【0110】

この実施の形態は、広告情報の再生に関し、音楽情報の再生中に同時に広告情報を再生するのではなく、音楽情報の再生時とは別の機会に広告情報を再生しても良いとするものである。すなわち、広告を見ること、または聞くことが、音楽を鑑賞することに対して支払う対価であるとするならば、それを音楽鑑賞の前後、あるいはそれ以外の機会に行っても良いとする。

【0111】

このような実施の形態では、以下のような効果がある。

【0112】

音楽鑑賞時に同時に行える広告は画像が主体となり、音声情報を入れるとしても過大にはできない。しかし、この実施の形態のように、音楽鑑賞の最中以外の機会に広告の再生を行うようにすれば、広告に音声情報を十分に含めることができる。

【0113】

音楽鑑賞の最中以外の機会に行う広告としては、例えば、新たな音楽情報（音楽コンテンツ）そのものを別途正規に鑑賞してもらうことを目的とした広告活動などが考えられる。すなわち、新たな音楽情報の予告広告のようなものである。

【0114】

また、音楽鑑賞の最中以外の機会に行う広告では、音声が主体の広告活動が可能である。例えば、送受信装置（例えばPC）18で何らかの作業（画面操作を主体とした作業）を行っているときに、そこで流される音声広告を聞いていると、音楽鑑賞に対する対価が支払われるとすることができる。このような広告の場合、それが音楽情報の広告であるとする、その音楽情報を気に入れば、その場で次の機会の音楽鑑賞のためにダウンロードするなどの操作に結びつけることも可能になる。このような広告のバリエーションとして、広告実施時にインターネットから同時に入ってくる（ストリームで広告再生する）ものを適用することもできる。つまり、インターネットラジオを聴いていれば、音楽鑑賞に対する対価の支払いを行ったことになることもできる。

【0115】

なお、前述した第1～第6の実施の形態では、音楽情報と広告情報を音楽再生

装置に送信し、音楽情報の再生に伴って広告情報を再生させたり、音楽情報の再生時以外の時に広告情報を再生させたりして広告料を徴収したが、広告情報の送信、再生、及び広告料の徴収を行わず、鑑賞者の音楽情報の再生回数に応じた鑑賞料の徴収のみを収入源としてもよい。また、再生回数に応じた鑑賞料の徴収を行わずに、予め定額制や従量制などの会員性とし、会費を徴収するようにしてもよい。

【0116】

この発明では、配信される音楽情報自体にコピーされることを防止するコピープロテクションは不要であり、前述した実施の形態に乗っ取った音楽配信システム上では制限なく音楽鑑賞が可能である。また、音楽配信ファイル自体のコピーも、運営会社側からすると、売り上げ増につながることから、むしろ歓迎すべきものとなる。

【0117】

また、従来は自分が気に入った音楽情報を広い範囲の友人などに配布することは違反行為であったが、この音楽配信システムでは、音楽の鑑賞量に応じて、その音楽の著作権者に対し著作権料の支払いを行うために、このような配布行為はむしろ歓迎される行為となる。

【0118】

この発明は、インターネットなどの情報通信システムにおける音楽の配信（聞く権利のネット上での購入）方法において、支払いを要求する著作権者と低価格を期待する消費者との溝を埋めるために、利用実績に基づいた著作権料の支払いと、広告料収入を得た鑑賞料の低価格化とを実現するサイトを構築するものである。また、前記実施形態は、本発明の要旨を逸脱しない範囲で、各々の組合せ、または種々変形して実施できる。

【0119】

【発明の効果】

以上述べたようにこの発明によれば、鑑賞者の低価格化要求、及び著作権者の権利侵害防止要求を満たすために、音楽の鑑賞実績（再生回数）に応じて、鑑賞者が支払う鑑賞料を徴収すると共に、宣伝広告の広告料収入を得て鑑賞料を低減

でき、さらに鑑賞実績に応じて著作権者に対し著作権料を支払うことができる音楽配信システムを提供することが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の第 1 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

【図 2】

この発明の第 1 の実施の形態の音楽配信システムの他のハード構成を示す図である。

【図 3】

図 1 に示す前記音楽配信システムにおけるサーバの構成を示すブロック図である。

【図 4】

前記音楽配信システムにおける情報の送受信を示すブロック図である。

【図 5】

前記音楽配信システムにおいて配信される音楽配信ファイルのファイル構造の第 1 例を示す図である。

【図 6】

前記音楽配信システムにおいて配信される音楽配信ファイルのファイル構造の第 2 例を示す図である。

【図 7】

前記音楽配信システムにおいて配信される音楽配信ファイルのファイル構造の第 3 例を示す図である。

【図 8】

この発明の第 2 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

【図 9】

この発明の第 3 の実施の形態の音楽配信システムのハード構成を示す図である。

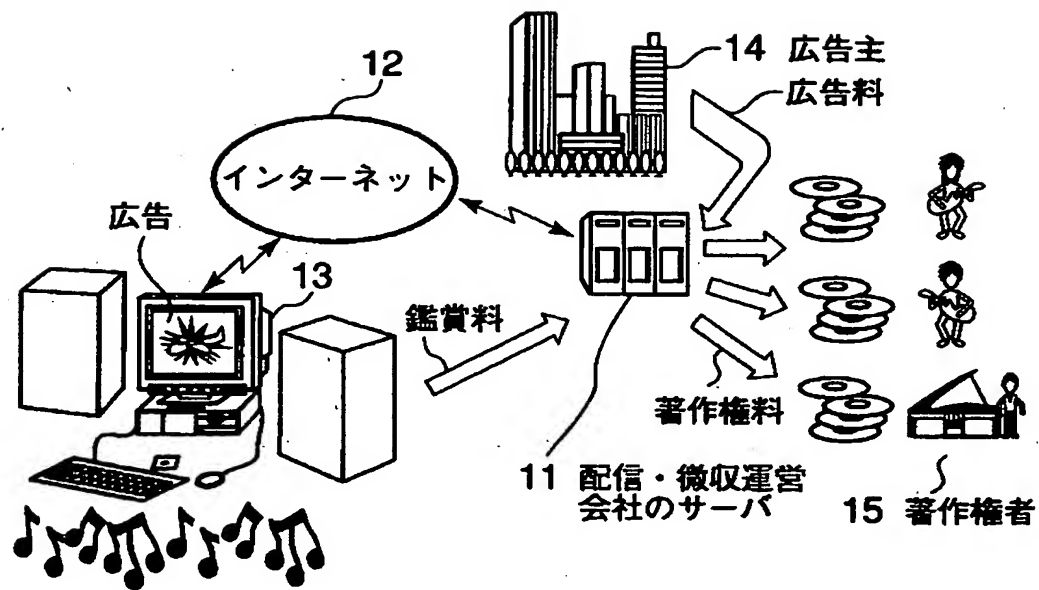
・ 【符号の説明】

- 1 1 …サーバ
- 1 2 …インターネット
- 1 3 …音楽再生装置
- 1 4 …広告主
- 1 5 …著作権者
- 1 6 …衛生
- 1 7 …携帯型の音楽再生端末（携帯端末）
- 1 8 …送受信装置
- 1 9 …携帯型の音楽再生端末（携帯端末）
- 2 1 …制御部
- 2 2 …出力制御部
- 2 3 …入力制御部
- 2 4 …メインプログラム
- 2 5 …音楽ファイル
- 2 6 …広告ファイル
- 2 7 …鑑賞者ファイル
- 3 0 …音楽配信ファイル
- 3 1 …ヘッダー情報部
- 3 2 …本体情報部
- 3 3 …音楽配信ファイル
- 3 4 …音楽配信ファイル

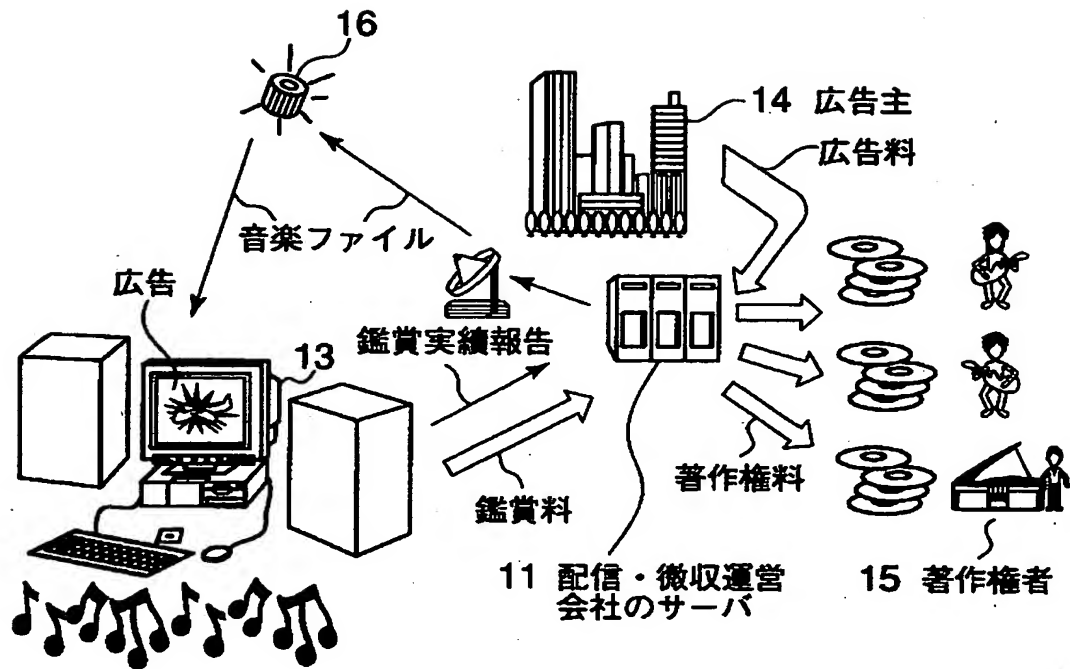
【書類名】

図面

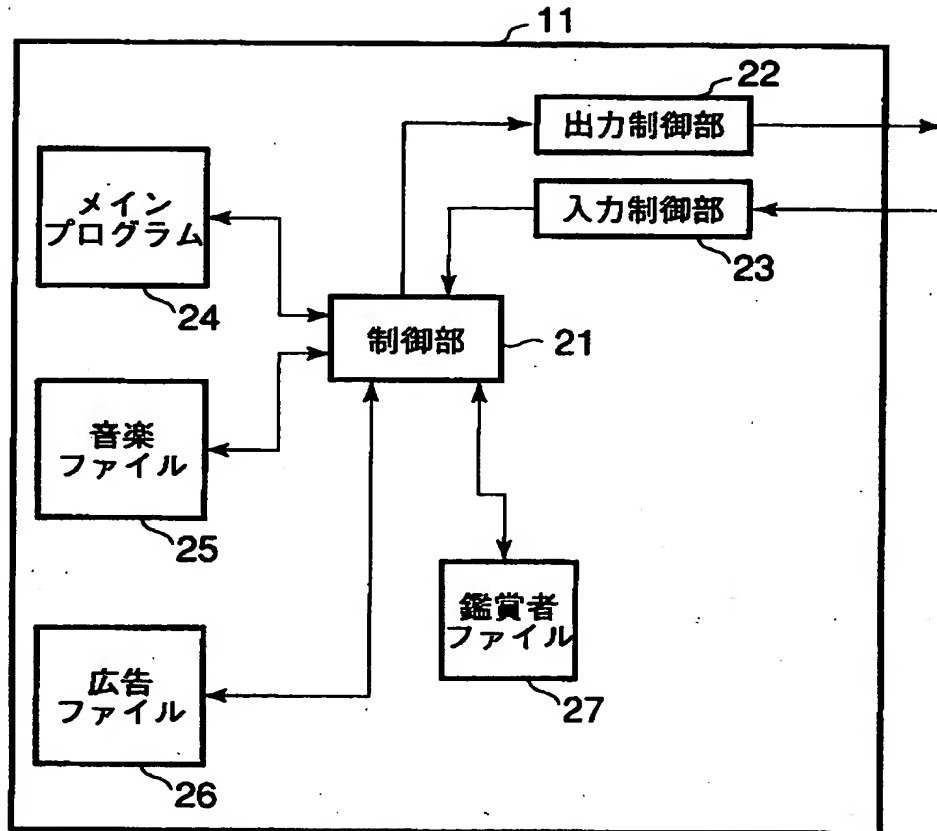
【図1】



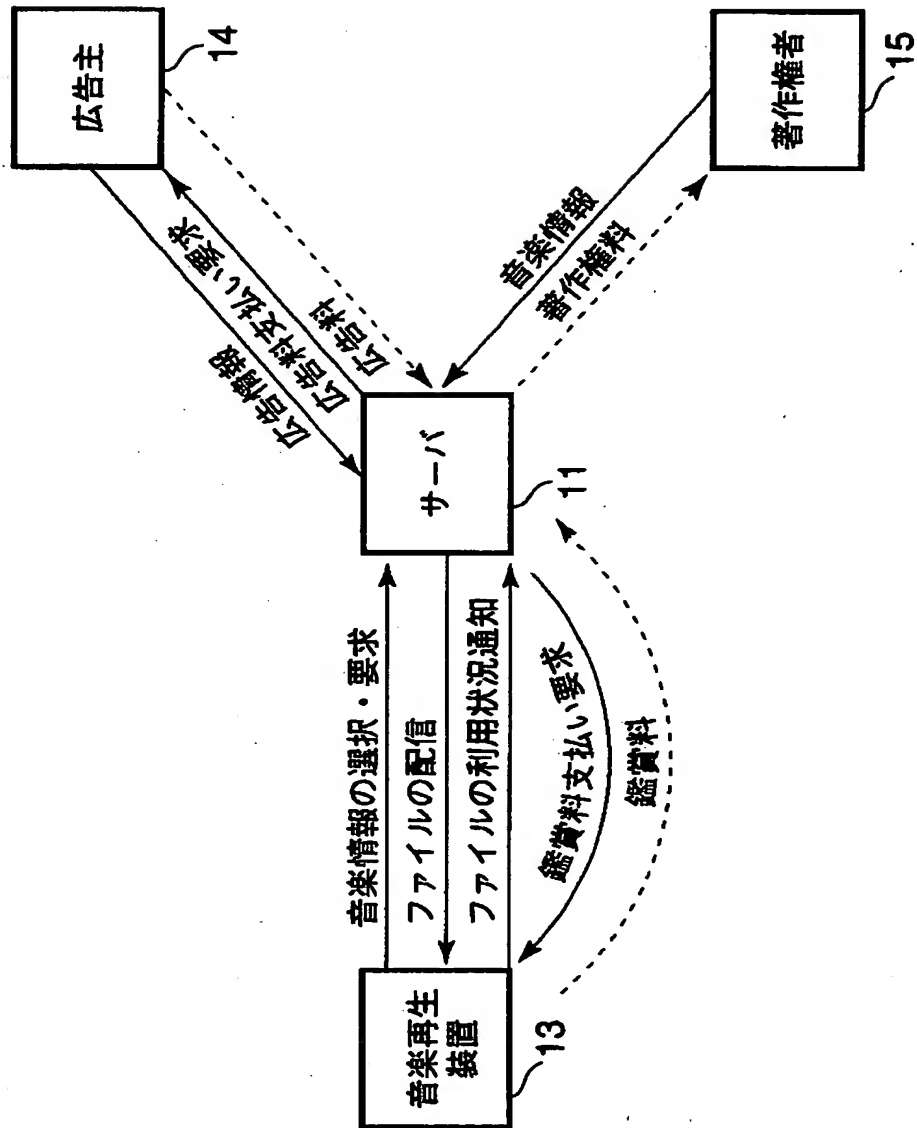
【図2】



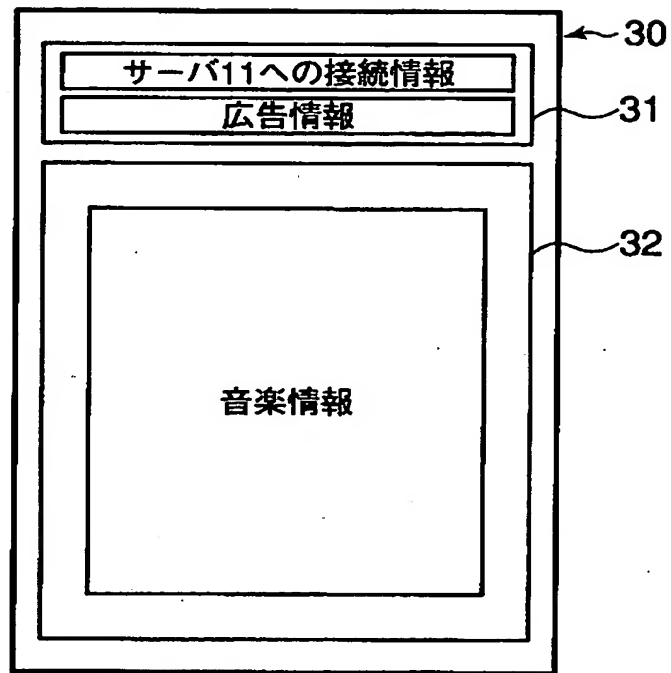
【図3】



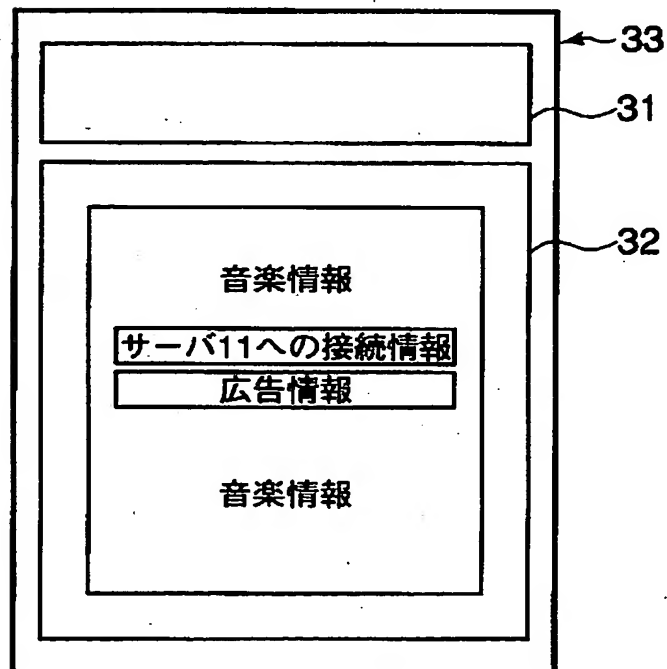
【図 4】



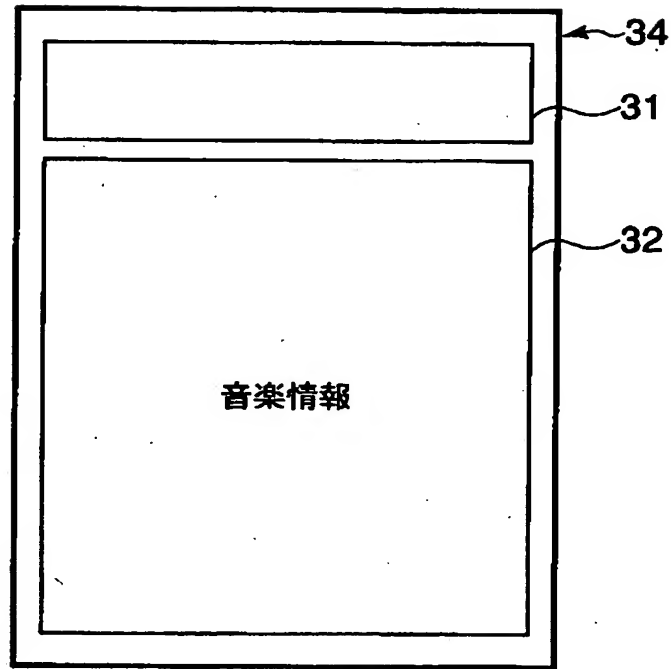
【図5】



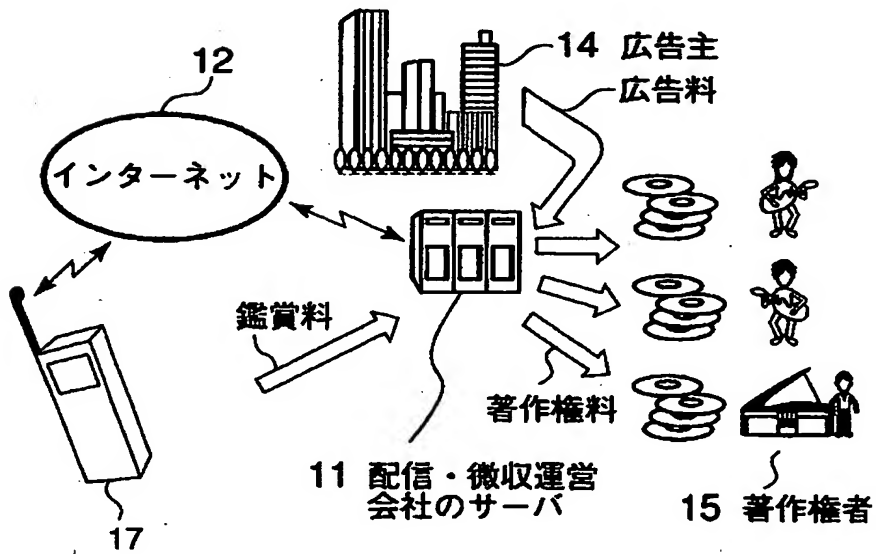
【図6】



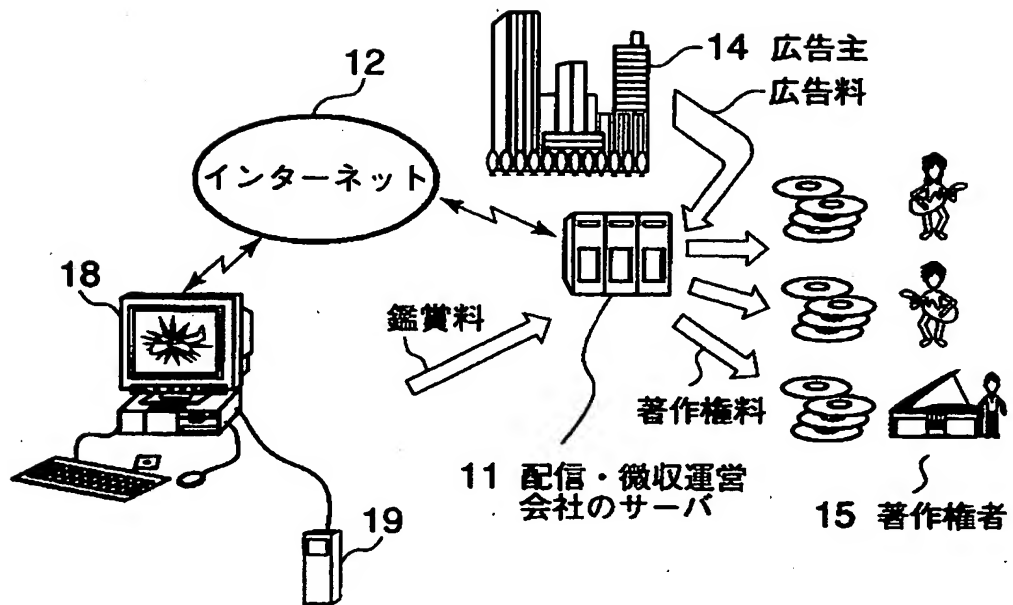
【図7】



【図8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 音楽の再生回数に応じて鑑賞料を徴収すると共に、広告の広告料収入を得て鑑賞料を低減でき、さらに再生回数に応じて著作権料を支払うことができる音楽配信方法を提供する。

【解決手段】 音楽再生装置 1 3 がインターネット 1 2 を介してサーバ 1 1 に対し音楽情報の配信を要求するステップと、サーバ 1 1 が音楽情報と広告情報とサーバ 1 1 への接続情報とを一体化した配信ファイルを再生手段 1 3 に配信するステップと、再生手段 1 3 が音楽情報の再生に伴って広告情報を再生するステップと、再生手段 1 3 が音楽及び広告情報の再生回数を記録するステップと、再生手段 1 3 が所定の頻度で再生回数をサーバ 1 1 に送信するステップと、サーバ 1 1 が再生回数に応じて広告主 1 4 に対して広告料を要求するステップと、サーバ 1 1 が再生回数に応じて再生手段 1 3 に対して鑑賞料を要求するステップとを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003078]

1. 変更年月日 1990年 8月22日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
氏 名 株式会社東芝
2. 変更年月日 2001年 7月 2日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都港区芝浦一丁目1番1号
氏 名 株式会社東芝